

講義コード	519400903	
講義名	人間関係（指導法） EF	
(副題)		
開講責任部署	幼児教育科（短大）	
講義開講時期	前期	
基準単位数	1	
時間	0.00	
代表曜日	水曜日	
代表時限	3時限	
科目分類名	専門科目	
科目分野名	教職に関する科目	
対象学部・年次	短期大学部・1～2年	
必須/選択	必修	
担当教員		
職種	氏名	所属
非常勤教員	小倉 庸寛	女子短期大学部
専任教員	教務委員会（短大）	指定なし

授業の概要

【授業の概要】

幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育・保育要領に示された領域「人間関係」のねらい及び内容について、幼児の姿と保育実践を関連させて理解を深める。その上で、幼児の発達にふさわしい主体的・対話的で深い学びを実現する保育を具体的に構想し、実践する方法を身につける。

【授業の方法】

①プレゼンテーションの方法

授業では、板書もしくはパワーポイント、タブレットを活用し理解を図る。

②授業形態

講義形式で説明したのち、グループワークを行う。

③アクティブラーニングの有無

自らの考えを発表したり、グループ話し合うことで答えを見つける。

④課題に対するフィードバックの方法

フィードバックとして、小テストを行い、次回の授業時に返却し、解説を行う。

授業の到達目標及びテーマ

幼稚園教育要領・保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の領域「人間関係」に示されたねらい及び内容を理解すること。また、幼児期の心身の発達及び人との関わりの発達について理解するとともに、保育者の援助を理解し、実践できるようになる。

到達目標については、学習成果における①幼児教育者観②知識・技能③実践力と実務能力④人間性と協働性が該当する。特に①②③を重視する。

本科目は、幼児教育科のディプロマ・ポリシー「2. 幼児教育の基本的知識を体系的に理解している。また、幼児教育の歴史、社会や自然と関連づけて理解している。」と「4. 幼児教育の知識・理解に基づいた幼児教育の方法や技術を習得している。」と「7. 他者との協調・協働して行動できる。また、目標実現のためにリーダーシップを発揮できる。」を達成するための科目である。

授業計画表

授業計画表

回	時限	担当教	項目
---	----	-----	----

		員	
第1回	調整中	小倉庸寛	幼稚園教育要領等における領域「人間関係」の全体像をつかむ。
第2回	調整中	小倉庸寛	教師との信頼関係と園生活における安定感を形成する援助のあり方を理解する。
第3回	調整中	小倉庸寛	自立心を育む援助について理解する。
第4回	調整中	小倉庸寛	友達との遊びを楽しむ中で多様な感情を経験し、自他の気持ちに気づく援助のあり方を学ぶ。
第5回	調整中	小倉庸寛	自他の気持ちの違いに気づき、自分の気持ちを調整する力を育む援助のあり方を学ぶ。
第6回	調整中	小倉庸寛	きまりをめぐる様々な幼児の葛藤と援助について学ぶ。
第7回	調整中	小倉庸寛	ルールのある遊びと援助について学ぶ。
第8回	調整中	小倉庸寛	個と集団の育ちを考える。
第9回	調整中	小倉庸寛	協同的な遊びの中で育ち合う長期的な保育の展開を考える。
第10回	調整中	小倉庸寛	幼児にとって意味のある行事のねらいと活動内容を考える。
第11回	調整中	小倉庸寛	幼小の交流活動を考える。
第12回	調整中	小倉庸寛	小学校以降の学習（生活や教科）で活かされる力について考える。
第13回	調整中	小倉庸寛	地域の中の幼稚園について考える。
第14回	調整中	小倉庸寛	多様な人、多様な子どもとの関わりの中で豊かに生きる子どもについて考える。
第15回	調整中	小倉庸寛	領域「人間関係」をめぐる現代的な諸問題について学ぶ。まとめ。

授業時間外の学修

予習として、該当するテキストの事前読了を求める。各回の予習には20分かかると予想される。また、復習として授業内容及び配布した資料や板書の見直し、振り返りを行うこと。各回の復習には25分かかると予想される。

実務経験の有無

実務経験のある教員が担当する 例：企業団体の実務経験者・税理士・学校現場教員経験者・カウンセラー等

ディプロマポリシーとの関連

ディプロマポリシー ①③ 自律学習能力の修得	ディプロマポリシー ② 専門的知識・技術の 修得	ディプロマポリシー④ 分析・論理構成・表現力 の修得	ディプロマポリシー⑤⑥ 問題解決能力・協働性の 獲得
○	◎	◎	○

ループリック

評価項目	優秀 (excellent)	平均 (average)	途上 (developing)	未達 (unachieved)
理解度	授業内容を100%理解しており、授業内容を超えた自主的な学修が行えていると認められる	授業内容をほぼ95%程度理解しており、自主的な学修も少し行えていると認められる	授業内容の理解はほぼ75%程度であることが認められる	授業内容の理解は70%以下と判断できるため、レポートへの助言・新たな資料の提供などの支援を行っている
課題解決能力	他からの支援を受けずに独自の能力で課題を解くことができるとともに、解法が定まらない他者に的確なアドバイスができる	基本的に他からの支援を受けずに独自の能力で課題を解くことができる	参考資料を参考にしたり他からの支援を少し受けながら自身の能力で課題を解くことができる	参考資料を参考にしたり他からの支援を受けたりしてもなかなか自身の能力で課題を解くことが難しいので、できる限り一緒に課題解決ができるよう支援している
レポート力 (復習も含む)	テーマについて授業で紹介した方法、もしくはそれに類する独自の手法を使った分析が十分になされている	テーマについて授業で紹介した方法で分析が十分になされている	テーマについて授業で紹介した方法で分析がなされている	テーマについて分析がなされていない

成績評価法 (表形式)

	評価基準	備考
定期試験	50%	定期テストでの評価
小テスト等		
成果発表		
授業への貢献度		
レポート	30%	授業中に行う小テストの評価
その他	20%	授業への取り組み方

課題へのフィードバック方法

定期試験や小テストの結果について	課題 (レポート等) について	模擬授業、プレゼン、発言等について
掲示板等に正解と講評を掲載する	授業の中で解説、講評する	

ICTを活用した双方向型授業の内容

ビデオ会議システム

アクティブラーニングの割合

総授業時間数の30%程度のアクティブラーニングである

アクティブラーニングの内容		
書く・話す・発表する等の活動におけるAL	経験値・技能を高める活動におけるAL	授業時間外におけるAL
小テストや授業内レポートの活用		
教科書		
保育内容「人間関係」 横山文樹・駒井美智子編 大学図書出版 幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説 内閣府 フレーベル館		
参考書		
その都度紹介します。		
SDGsとの関連		
4. 質の高い教育をみんなに		
特記事項等		
科目のナンバリング SCO1105		
学生へのメッセージ		
実習や保育現場にて子どもにどのように声をかけたらよいか、どのような働きかけがよいかを考え、実践できる力を身につけよう。		
研究室（訪問先等）		
中央研究棟2階非常勤講師室 前期水曜日の午後が出講日		
電話番号		
028-667-7111（代）		
授業用E-mail		
tsunehiro_ogura@sakushin-u.ac.jp		
成績評価法		
①試験 50% ②レポート 30% 課題・発表等の内容を評価する。 ③その他 20% 準備学習（予習・復習）の実施状況を評価する。		